

ほしの雅春ニュース

発行・星野雅春後援会
所在地・刈谷市高須町
電話・090-3580-9481
編集責任者・星野雅春
毎月30日発行・無料

刈谷工科高校の現状を憂慮!

常態化する公立高校の定員割れ・・・どうする？刈谷市!

刈谷工科高校の前身は刈谷工業高等学校です。もう半世紀ほど前に単立した、7回生で卒業生の人である星野は母校の現状に、少し不安を抱えています。それは、大袈裟に言うところ、学校の将来だけでなく、モノづくりの根幹を揺るがす刈谷市の将来に関係すると思えるからです。6月議会に問う!

今、全国の都道府県立高校の「魅力化推進」が大きくなりつつあります。全国の公立高校では、生徒数の減少による定員割れが進み、公立高校の統廃合や、廃校に追い込まれることが頻繁あると言います。

課題克服？
市に役割が

原因は少子化と、私立高校授業料無料化による公立離れが進んでいることです。愛知県では、刈谷工科高校の定員割れは、他の高校と同様におきています。募集人員280人のうち、令和3年度53人、令和4年度23人、令和5年度37人が欠員です。刈谷工科高校の前身である刈谷工業高校は1950年代に創立が提起され、トヨタ自

は数年前から、県立高等学校教育推進実施計画を策定し、グローバル社会で活躍できる人材育成や、職業教育への一層の充実を掲げました。刈谷高校の中高一貫、刈谷北高校の「国際探求科」の創設や刈谷工業高校の刈谷工科高校への改称等「魅力化」へ一歩歩みだしました。しかし、刈谷工科高校の定員割れは、他の高校と同様におきています。募集人員280人のうち、令和3年度53人、令和4年度23人、令和5年度37人が欠員です。刈谷工科高校の前身である刈谷工業高校は1950年代に創立が提起され、トヨタ自動車

の市長を務め、刈谷市の名譽市民である石田退三氏の尽力により開校しました。(日本の都市化、刈谷の工業と政治より)自動車、機械、電気の3科はこの国の基幹産業を支えていくものでした。モノづくりの街を標榜する刈谷市を象徴する学

び舎でもありました。冒頭にある統廃合や廃校などにならない為にどうすればいいのでしょうか。法律、制度上刈谷市が県へ高校の方針や計画に関与する権限は持っています。でも、生徒たちが「行きたくない学校」親たちが「行かせたくない学校」が「行かせたくない学校」



ほしの雅春 市議



刈谷工科高校の校訓は「技術者たる前に人間(ひと)たれ」です。この校訓は刈谷工業高校時代からも引き継がれています。どんなに優れた技術を持っていても、人の道に反する技術を駆使する技術者は真の技術者と言えない、と星野は理解しています。校訓はいつも心の中にあります。「政治家たる前に人間(ひと)たれ」「活動家(リーダー)たる前に人間(ひと)たれ」と。星野の人生を少なからず動かした言葉です。未だに「人間(ひと)たれ」が私に問いかけます「まっとうな人間(ひと)」か？と。



校」とは何かを愛知県に「おまかせ！」ではないはずありません。刈谷市、地域が知恵を出し合い、「魅力化推進」のための方策を検討すべきと考えます。新設された刈谷工科高校のIT工学科はAI、IoTを活用した先端技術を身に着け、デジタル社会に対応する技術者を育成するとしています。その鳴り物入りの刈谷工科高校が定員割れという事態が進んでいます。6月議会、星野が質します。

青雲の声

己を鍛え上げることが惜しまぬものは、いざれ必ず天賦の才あるものを凌ぐ！NHK大河ドラマ「どうする家康」の中で、野村萬斎扮する今川義元が嫡男に語った言葉だ。感動した。さらに「民に見放された時、我らは死ぬのじゃ」とも。今川義元は仲間や家臣を大事にしたそう。人質だった徳川家康も嫡男と兄弟のように育てた。ドラマの演出なのか、実在した彼が、本当に放った言葉なのかはわからないが、現代にも通用する。努力するものはいざれ必ず、夢を実現する。「いざれ必ず」が諦めさせないキーワードかも。「ほしの雅春ニュース」毎月発行、市政報告会の開催、毎議会欠かさず一般質問。「努力した」との錯覚が思わぬ結果を招く。まだまだだぞ！星野!



議員には予算編成権がありませんが、質問権、提案権を行使して政策を実現できます・・！

健康・長寿へのタネマキ実現！

刈谷市議会議員 ほしの雅春

タネマキした税金が一時的効果ではなく、持続的に市民へ恩恵をもたらし、結果として健康・長寿・地域の絆の実を結びます。

「バラマキ」から「タネマキ」を基本政策に据えた星野。健康・長寿への「タネマキ」政策として3つ掲げました。第1に掲げ、政策実現を提案するのが「地域体育館構想」です。刈谷市内には総合体育館ウイングアリーナ、亀城公園内の体育館の二つの総合体育館があります。

将来へタネマキ必要！

こちらではプロバスケットボールBリーグやバレーボールのVリーグなど見るスポーツなどが実施されています。一方、健康づくりのための地域スポーツとして、バレーボール、卓球、ユニホッケーなどのニュースポーツの活動場所として、学校の体育館の利用が進められてきました。しかし

スポーツを通じた仲間づくりが地域の街づくりの原動力になるなら、適正な投資と言えます。豊田市の地域体育館では、法人化された地域総合型スポーツクラブが管理運営し、スポーツ教室の開設など進めています。スポーツ人口の拡大とクラブの経営を担っていて、大きな成果を上げています。2つ目として、稲沢市で実施している「お出かけタクシー」の実現です。稲沢市では、75歳以上の高齢者と妊婦さんにタクシーの

健康志向の高まりやスポーツ愛好家の増加により、希望する体育館の利用が難しくなってきました。そこでスポーツに対する地域ニーズを確実に受け止める「地域体育館」が必要になってきます。施設の設定は、建設費だけでなく、維持費が継続されます。ハコモノとの指摘はここにありま

す。しかし、市民の健康が維持促進され、高額医療制度とは、病院や薬局で支払った金額が、上限を超えたとき、所得により差がありますが、保険者が支払ってくれるという制度です。でもこの制度大きな問題が指摘されました。適応されるのは、その月ひと月だけです。例えば手術、リハビリで退院2週間

知らないで損する？私が悪いのね？

月またぎによる格差！

高額医療制度・・ありがたいのですが・・

必要な病気があります。仮に手術代50万円、入院30万円かかったとします。その月内であれば、80万円かかった費用は、所得によりますが100万円で済みますが、今月手術しました、翌月入院リハビリの場合、今月10万円、翌月10万円の支払いが発生します。月内で収まる人と、月



またぎする人との格差が生じます。制度を知っている人、医師からの助言がある人、ここに大きな差が生じます。法、制度上やむを得ないかもしれませんが、釈然としないとの意見があります。確かに！

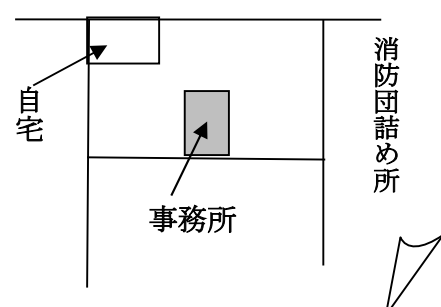
半額補助を実施し、「出不精」になりがちな高齢者の外出を促進し、運転免許の返納を図っています。さらに、交通事故のリスクの高い妊婦さんには好評を得ています。3つ目は、高齢者の「おひとり



出発式のお知らせ

- ・令和5年6月25日(日)
- 10時~
- ・ほしの雅春後援会事務所

ソノ一電機さん



様」に対する施策です。AIやIoTで安否確認にとどまらず、対話や医療、買い物と言った生活全般を支えることができるようになる可能性があります

編集後記

初めて選挙に臨んだ時のキャッチフレーズは「情熱とロマンと行動力」だった。若かった。ある先輩から薫陶を受けた。「若さ」とは「正しいことを正しいと言える勇氣」「惜しみない情熱、エネルギー」「明るい未来を志向する」と。大人は時には迎合しあきらめ、それを仕方ないと思う。カネやモノや打算でなく、社会やみんなのために頑張る、希望をもって前向きに生きる、ことだと。「まじめに、まっすぐ！情熱系」の原点はここにある。長いものに巻かれたい、権力に屈しない、体制に迎合しない！正しいと思ったことは名誉ある孤立を選ぶ。これが清風クラブの信念だ。いい仲間にも恵まれた。謝

「議会改革」を通して「議会品質」を高める・・ほしの雅春



HP こちらどうぞ